

The Japan Association of Radiological Technologists

ネットワーク・ナウ

# Network Now

JART情報  
<https://www.jart.jp>

2026 No.603

# 3 / 1

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28  
三田国際ビル22階  
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



## 日本診療放射線技師学術大会 における演題登録について

本会学術大会における演題登録までの流れについて、倫理委員会では以下の演題区分とフローチャートを策定しております。

演題区分については、カテゴリー分類を「研究」と「報告」に分けています。

2021年に「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」が新たに制定され、その後、個人情報保護法の改正に伴い、2022年3月に倫理指針の一部改正が行われ、基本的に人を対象とする研究は、倫理審査委員会の承認を得て行う必要があることから、学術大会の演題募集において

も、倫理審査委員会の承認番号などを明記していただくことになりました。「研究」のカテゴリーはこれを受けてのものです。

一方、症例報告や技術報告、日常の診療や業務改善、さまざまな提案などは「報告」というカテゴリーで募集します。

また人を対象としないファントム実験などについては「研究」として、研究計画や結果の分析ができていない場合には「報告」として発表していただくこともご検討ください。

詳細は、本会誌2月号から掲載されている演題募集要項をご覧ください。  
(倫理委員会)

演題区分一覧表

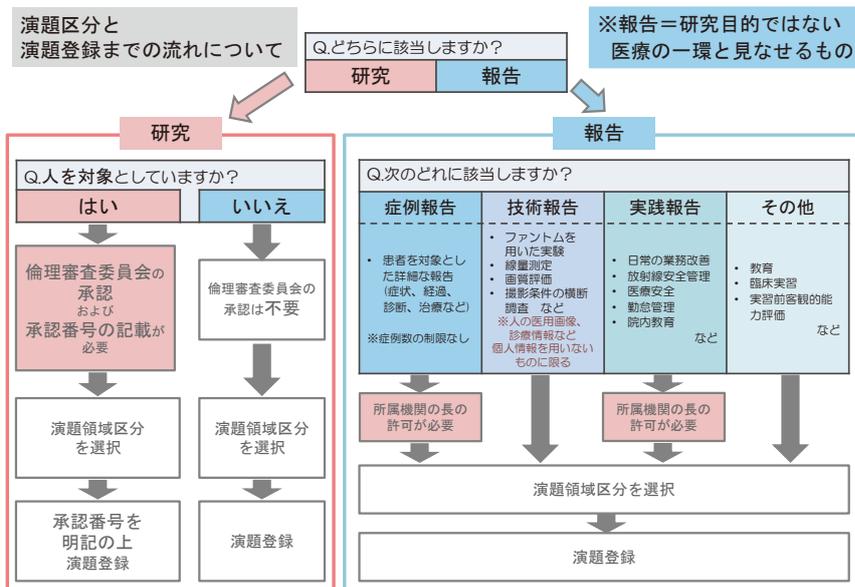
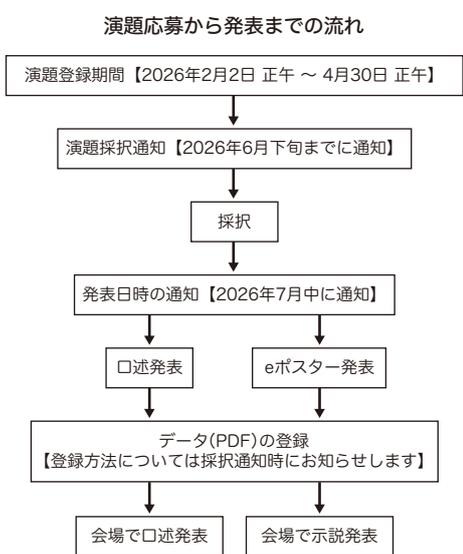
区分		内容	倫理審査の必要性
1. 研究	1	人を対象とした研究 研究デザインを行い実施しており、人を対象としているもの。	倫理審査委員会の承認が必要
	2	人を対象としない研究 研究デザインを行い実施しており、人を対象としていないもの。	倫理審査委員会の承認は不要
2. 報告	1	個々の患者についての詳細な報告であり、症状、経過、診断、治療などの詳細についてまとめたもの。症例数については定義しない。 <b>施設のルールに従って所属機関の長の許可が必要</b>	不要
	2	ファントムを用いた実験や、線量測定、画質評価、撮影条件の横断調査など、データ取得過程も含め、人の個人情報、医用画像や診療情報を用いず、主に物理的な事実を検証し、その理解を広めることを目的としたもの。	不要
	3	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、勤怠管理、院内教育などの詳細についてまとめたもの。 <b>施設のルールに従って所属機関の長の許可が必要</b>	不要
	4	教育、臨床実習、実習前客観的能力試験など、教育等についての詳細をまとめたもの。	不要

「症例報告」について

- 1) 症例報告では、個々の症例を提示し、その症例に関する検討を行うものである。結果を解析するなど他へ適用できる医学的知見を導く場合は研究と見なされる。
- 2) 症例報告の症例数は制限を設けない。複数の症例であっても、個々の症例を全て提示する症例報告の体裁が整っていれば、症例報告として認められる。
- 3) 症例の件数のみを報告する場合は、症例報告として認める。しかし、その結果を比較したり傾向を示す場合は、症例報告として認められない。
- 4) 症例報告で演題登録する場合には、所属機関の長の許可が必要である。

「報告」の例示

- 症例報告
  - Dynamic CT 検査で発見された微小肝腫瘍の症例報告
  - Covid-19 ワクチン接種が MRI 乳がん検診に影響した一例
- 技術報告
  - CT 評価用ファントムを用いた被ばく低減のための撮影条件の検討
- 実践報告
  - IGRT におけるタスク・シフト / シェアの実践報告
- その他
  - 技師教育におけるマニュアル作成の有用性のアンケート報告  
(患者へのアンケート調査は、研究カテゴリーとなる)



# チーム医療推進協議会 令和7年度会長懇談会 開催される

2025年12月2日(火)、本会上田会長が代表を務めるチーム医療推進協議会の令和7年度会長懇談会が、国会議員各位、看護協会 秋山会長ほか多くの医療職種代表・会長のご列席の下、開催されました。

関係各位に厚く御礼申し上げます。



## 2025年度 マネジメント研修会 (Lv3・Lv4) 開催報告 (Web開催)

人材育成委員会 委員長 高橋 俊行

日本診療放射線技師会では、2026年1月17日(土)・18日(日)の2日間にわたり、マネジメント研修会を開催しました。17日にはLv3、18日にはLv4の講習が実施され、各日それぞれ14人、11人の参加がありました。両日とも受講者は全国各地から参加し、さまざまな施設で活躍する会員が一堂に集う貴重な機会となりました。

今回の開催は、マネジメント研修会としては初めてのWeb開催であり、オンライン会議システム「Zoom」を用いて実

施されました。講義に加えてグループワークもオンライン上で行い、画面を共有しながら意見交換や課題検討を行うなど、双方向的で活発な討議が展開されました。初の試みではありましたが、受講者の積極的な参加と運営スタッフのスムーズな進行により、対面開催に近い臨場感と一体感を得ることができました。

Web開催により、移動負担の軽減や参加地域の拡大が実現し、より多くの会員に学びの機会を提供できたことは大きな成果といえます。来年度も引き続き、同様の形式で開催を予定しております。より一層充実した内容で多くの参加を期待しています。

## 第2回エックス線撮影WGセミナー開催報告 (Web開催)

エックス線撮影WG委員 安藤 英次

2026年1月20日(火)、エックス線撮影WGでは、撮影技術の向上を目的としたWebセミナーを下記の要領で開催致しました。100人の枠は満席となりました。

近年、高齢者を対象とした膝関節X線撮影では、変形性膝関節症における関節アライメントを評価する目的で、荷重位での立位撮影の依頼が増加しています。臨床においても、関節不安定性を評価する撮影体位として、従来の臥位撮影ではなく、立位撮影が求められるようになってきました。

そこで本セミナーでは「膝関節の立位と臥位撮影」をテーマに、2人の講師による講演を行いました。

講義1では、「撮影補助具を利用した膝関節立位X線撮影」

と題し、堀川良太先生(独立行政法人国立病院機構石川病院)にご講演いただきました。

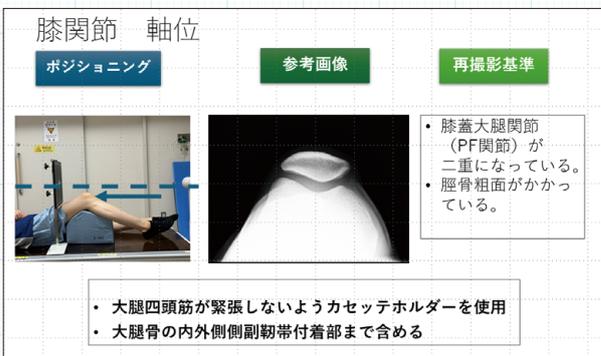
講義2では、「膝関節撮影の基本3方向(正面・側面・軸位)」について、辻井貴雄先生(エックス線撮影WG委員、日本赤十字社姫路赤十字病院)にご講演いただきました。

両講師は、自施設において膝関節X線撮影を立位撮影へ移行された経験を有しており、その実践的な経験を踏まえ、立位撮影および臥位撮影それぞれの有用性や、再撮影時の注意点などについてご講演いただきました。

最後に、本セミナーにご参加いただいた皆さまをはじめ、Web開催の準備にご尽力いただいた江田統括専門職、ならびにセミナー開催にご協力いただいたJART関係スタッフの皆さまに、心よりお礼申し上げます。



画像提供: 国立病院機構石川病院 堀川良太先生より



画像提供: 姫路赤十字病院 辻井貴雄先生より

## 告示研修(実技研修)の全国開催終了のお知らせ

告示研修(実技研修)の各都道府県での開催は本年度までとなります。

2026年度からは東地域(東京都)と西地域(大阪府)のみの開催となりますので、ご注意ください。

INFORMATION

# レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

## NAGASAKI

藤会員、哲翁病院の大槻会員、島原病院の金子の、健康福祉まつり経験値が高い3人で従事しました。

### 令和7年度 南島原市健康福祉まつり

- 日 時：2025年10月19日(日)
- 開催場所：ありえコレジヨホール／有家保健センター
- 参加者：担当者数3人、一般380人

10月19日(日)午前10時から午後3時まで、ありえコレジヨホールと有家保健センターで南島原市健康福祉まつりが開催されました。天気予報では曇りのち雨(降水確率60%)でしたが、イベント終了まで雨は降らず、曇りの中、朝晩も涼しく、イベントの開催には持ってこいのお天気でした。

本年度は、9月に天皇皇后両陛下と愛子内親王殿下ご臨席された「ながさきピース文化祭2025」の期間中でしたので、南島原市の健康福祉として同時開催の健康福祉まつりでした。



術衣・プロテクターの試着体験コーナーでは、子供用の術衣がありませんので、足元を短く切って試着、グローブ、アイシールドや防護メガネ、ヘッドキャップの試着を試みました。子どもたちは興味を持つものの、最初は試着に恥ずかしがりましたが、親御さんのカメラの前ではピースサインをしていました。せっかく2着準備しましたので、親子2人での術衣試着も実施すると大変喜ばれました。「大人になって術衣を着られる機会もないので嬉しかった」とのコメントも頂きました。近隣の福祉コースを勉強している高校生も健康福祉まつりに従事されており、休憩時間には技師会のブースにも来場され、診療放射線技師のお仕事の説明を受けたり、術衣の試着体験もしていただきました。



長崎県診療放射線技師会の健康福祉まつりとしては、乳がん検診普及啓発キットをメインとして、乳がん検診促進を訴えるパネル展示、診療放射線技師のお仕事体験ができる術衣・プロテクター・防護メガネの試着イベントを準備しました。またノベルティーはいつも「花の種」を準備していましたが、今回は日本診療放射線技師会に申請すると、ロゴ利用と花の種購入の補助金も許可されました。

当日(10月第3日曜日)はジャパン・マンモグラフィ・サンデーと重なりましたので、地域の女性技師を健康福祉まつりに呼ぶこともできず、愛野記念病院の内



大切な人のために「がん検診」  
私たち診療放射線技師会は、放射線検査を正しく理解し納得して「がん検診」を受けて頂くために、11月2～8日を「レントゲン週間」として協賛して活動しています。  
(11月8日はレントゲン博士がX線を発見した日)  
長崎県診療放射線技師会  
日本診療放射線技師会



午前中は休憩する間もなく、たくさんのお客さまが技師会のブースに来場され、約380袋の花の種も渡すことができました。イベント全体の一般来場者は速報値では420人ほどでした。参加していただいた会員の皆さま、お疲れさまでした。心よりお礼申し上げます。(長崎県診療放射線技師会 島原地区理事 金子 直樹)

# FUKUSHIMA

## 令和7年度福島県診療放射線技師学術大会 一般公開講座

- 日 時：2025年10月26日(日)
- 開催場所：星総合病院 ポラリス保健看護学院 メグ  
レズホール

- 参加者：担当者数26人、一般22人
- ・一般公開講座「放射線治療医ががんになった話～  
ボンコツながん患者から学べる事はあるのか?～」  
(福島県診療放射線技師会 (大会長) 会長  
鈴木 雅博)



# TOKYO

## OTAふれあいフェスタ2025

- 日 時：2025年11月1日(土)・2日(日)
  - 開催場所：平和の森公園
  - 参加者：会員26人、一般645人
- 乳腺ファントムしこり体験と骨密度(超音波)測定、結果説明を行いました。日本公衆衛生学会員による被ばくに関するアンケートも同ブースで行いました。
- 2日間で骨密度は429人を測定し、乳腺ファントムしこり体験は216人にご体験いただきました。
- その他、被ばく関連アンケートは380人にお答えいただきました。
- (東京都診療放射線技師会 広報委員長 江積 孝之)



# KYOTO

## 令和7年度 府民交流フェスタ

■ 日 時：2025年11月3日(月・祝)

■ 開催場所：京都市立植物園

■ 参加者：担当者数8人、一般153人

2025年11月3日(月・祝)、京都市立植物園で「府民交流フェスタ2025」が開催され、私たちも団体PRブースの一つとして参加しました。

「府民交流フェスタ」は、京都市内のさまざまな団体が一堂に会し、府民の皆さまとの交流を通じて活動内容を紹介する、年に1度の大規模な地域イベントで、幅広い世代が学びとふれあいを楽しめる貴重な機会となっています。

当日は午前中こそ小雨に見舞われ、イベント進行に遅れや順番変更などの対応を余儀なくされましたが、午後からは晴天に恵まれ、暖かな気候の中で多くの来場者にご参加いただきました。

私たちのブースはパフォーマンス広場に設置され、以下の4つの企画を通じて、診療放射線技師の役割や専門性について広く知っていただくことができました。

- ・放射線なんでも相談コーナー：5人が参加
- ・クイズコーナー：親子2組が参加
- ・パネル展示：放射線に関する情報を分かりやすく紹介
- ・骨密度検査（超音波式）：147人が測定

特に「骨密度検査」には、雨天にもかかわらず最大30分待ちの行列ができるほどの盛況ぶり、多くの方に関心を持っていただきました。測定を受けられた方



には、日本診療放射線技師会のクリアファイルに、測定結果と来年度開催予定の「府民公開講座」のポスターを同封してお渡ししました。

今回も子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々にご参加いただき、特に若い世代への啓発につながる有意義な時間となりました。診療放射線技師の仕事や放射線に関する正しい知識を、地域の皆さまに直接お伝えできる貴重な機会となりました。

なお、「府民交流フェスタ」への出展は毎年抽選で決定されるため、継続的な参加が保証されているわけではありませんが、今後も積極的に応募し、地域に根差した啓発活動を継続していきたいと考えています。

最後に、本イベントの運営にご協力いただいたスタッフおよび会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。

(京都府診療放射線技師会 広報渉外理事 三浦 健一)



# WAKAYAMA

## 放射線パネル展

■ 日 時：2025年11月3日(月・祝)

■ 開催場所：スーパーセンターオークワ パームシティ 和歌山店

■ 参加者：会員7人、非会員33人

パネル展、被ばく相談、骨密度測定

(和歌山県診療放射線技師会 総務委員長 中岡 郁晴)



## SHIMANE

2025レントゲン週間・ピンクリボンフェスタ  
あなたのための医療放射線展

■ 日 時：2025年11月8日(土)・9日(日)

■ 開催場所：出雲健康公園 出雲ドーム

■ 参加者：担当者数35人

一般

・乳がん検診相談：165人

・骨密度測定：617人

・職業体験：延べ309人

・職種紹介：13人

(島根県診療放射線技師会 総務部長 三澤 秀武)



ブース全体の様子



超音波検査体験



3Dワークステーション体験



乳がん検診相談・自己触診指導



骨密度測定

オートプシー・イメージング(Ai)認定診療放射線技師制度  
の認定機関移行について

INFORMATION

平素より本会の諸事業に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、日本診療放射線技師会が運営しておりました「オートプシー・イメージング(Ai)認定診療放射線技師」制度につきまして本会ではその役割を終えることとなりました。2026年度より認定および更新に関する業務は「日本オートプシー・イメージング技術学会(JSAiT)」が実施致します。

本年度までの認定更新はJARTで行いますが、新規の認定は行いません。会員各位におかれましてはご理解とご協力をお願い致します。

## ■ 認定制度移行スケジュール(予定)

新規認定先：日本オートプシー・イメージング技術学会(JSAiT)

実施時期：2026年度認定(更新・新規)より

対象：オートプシー・イメージング(Ai)認定診療放射線技師の更新および新規認定を希望される診療放射線技師

## ■ 会員の皆さまへのお願い

- 2025年度内の更新申請：従来通り日本診療放射線技師会で受け付け致します(移行作業に伴い、2025年度内の新規申請の受け付けは中止させていただきます)。
- 2026年度以降の更新・新規申請：申請先が日本オートプシー・イメージング技術学会へ変更になります。手続きや申請方法は、下記ホームページをご参照下さい。

日本オートプシー・イメージング技術学会 認定診療放射線技師制度

<http://japanese-society-of-autopsy-imaging-and-technology.kenkyuukai.jp/special/index.asp?id=47042>

オートプシー・イメージング(Ai)認定診療放射線技師制度は、死亡時の画像診断技術の信頼性と品質を担保し、死因究明における診療放射線技師の社会的役割を支える重要な制度です。会員の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



INFORMATION

第6回 第42回日本診療放射線技師学術大会

山形への道 Go To YAMAGATA

副実行委員長 伊藤 真理

(小国町立病院)



山形県置賜地域のご紹介



山形県の南の玄関口に広がる置賜(おきたま)地区は、米沢市・長井市・南陽市と、川西町・白鷹町・高島町・飯豊町・小国町の3市5町から成る盆地です。吾妻連峰や飯豊山地に抱かれたこの地域は、イギリスの旅行家イザベラ・バードが「東洋のアルカディア」と讃えたように、四季折々の自然と人々の営みが調和する土地です。

春には、南陽市の烏帽子山千本桜が赤湯温泉街を彩ります。置賜さくら回廊は、最上川沿いに続く花の道となり、訪れる人々を魅了します。長井市のあやめ公園では初夏になると紫の花々が咲き誇り、舟運の町に季節の彩りを添えます。

さらに飯豊町の白川湖では雪解け水に沈む柳が水面に立ち並び、幻想的な「水没林」が姿を現します。芽吹いたばかりの新緑と湖面のきらめきが調和した奇跡の風景が広がります。



白川湖の水没林

夏には、置賜の山々が深い緑に包まれます。小国町ではブナの森を歩く森林セラピーが人気です。木漏れ日と鳥の声に癒されながら歩くひときは、心も体も解き放たれる時間となります。最上川の清流や飯豊山の登山道は涼を誘い、川辺では鮎釣りや水遊びを楽しむ姿も見られます。長井市では「黒獅子まつり」が開催され、勇壮な黒獅子が町を練り歩く様子は、夏の風物詩として多くの人々を魅了します。また飯豊町でも「飯豊の暴れ獅子」が舞い、太鼓や笛の音に合わせて力強く躍動する姿は、地域の誇りと信仰を今に伝えていきます。置賜の夏は、自然の涼やかさと祭りの熱気が交わる季節です。

秋は果樹園が色づきます。ぶどう、りんご、ラ・フランスが実り、高島町のワイナリーでは大正期から続く醸造の歴史に触れることができます。加えて南陽市の赤湯温泉街近くには「赤湯ワイン」があり、温泉と共に楽しめる地域の味わいとして知られています。赤湯のぶどう畑は古くから開かれ、地域に根差したワイン造りが続けられてきました。置賜一帯には家族経営の小さなワイナリーも点在しており、土地の風土を生かした個性豊かなワインが生み出されています。訪れる人は、歴史ある小規模な醸造所で温かいもてなしを受けながら、置賜ならではの味わいを楽しめます。川西町のダリヤ園は秋空の下で色とりどりの花が咲き誇り、訪れる人を楽しませます。白鷹町では紅花の文化が今も息づき、最上川の鮎漁も秋の風物詩です。



上杉雪灯籠まつり

そして冬、米沢市の城下町は雪に包まれます。上杉神社の境内に積もる雪は静謐な美を湛え、歩けば歴史の余韻が白銀の世界に溶け込んでいきます。ここには、藩政改革で知られる上杉鷹山(ようざん)公の精神が今も息付いています。財政難に苦しむ藩を立て直し、「なせば成る、なさねば成らぬ何事も」という言葉を残した鷹山公。その精神は雪深い米沢の町に静かに息付き、訪れる人に力強い余韻を与えてくれます。

置賜は、四季の移ろいととも表情を変える土地です。米沢牛や果樹、地酒やワインといった食文化も季節ごとに楽しめます。さらに米沢ラーメンをはじめとする置賜のラーメン文化も広く知られ、あっさりとした醤油味のスープと細ちぢれ麺は、旅人の心と体を温めてくれます。訪れる人に「もう一泊してみたい」と思わせる魅力を備えています。

せっかく山形まで来るのなら…学会だけで終わらせるのは、もったいない。

学びと癒やしを両立させる旅を、ぜひ置賜で。



JCRT42 YouTubeチャンネル https://www.youtube.com/@JCRT42



山形県放射線技師会 Facebook https://www.facebook.com/profile.php?id=61574051232747



山形県放射線技師会 Instagram https://www.instagram.com/yamahogi/p/



第42回 The 42nd Japan Conference of Radiological Technologists

# 日本診療放射線技師学術大会

第33回 東アジア学術交流大会

The 33rd East Asia Conference of Radiological Technologists (EACRT)

## 新たな潮流 紡ぐ灯

人とAIがもたらす放射線技術の未来

JARTスローガン

安全と信頼、診療放射線技師の使命と責任を果たそう



日時

2026  
9/11 Fri - 13 Sun

場所

山形ビッグウイング  
(現地開催+オンデマンド)

立石寺 (山寺) 不滅の法灯

会長

上田 克彦  
公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 山形県放射線技師会

大会長

鈴木 幸司  
一般社団法人 山形県放射線技師会 会長

後援 | 厚生労働省 (予定) / 公益社団法人 日本放射線技術学会  
山形県 / 山形市 (予定)

大会事務局

一般社団法人山形県放射線技師会  
〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2  
山形大学医学部附属病院放射線部内  
Tel : 023 (628) 5786 Fax : 023 (628) 5799  
E-mail : 42jrt@gmail.com

## 五感で守る医療安全 節分という区切り



診療放射線技師の業務は、視覚を最も多く使う仕事の一つです。ディスプレイに映し出される画像から必要な情報を正確に読み取り、わずかな異常も見逃さないことが求められます。しかし、医療安全を支えているのは視覚だけではありません。

エックス線撮影では、ポジショニング時に患者さんへ触れる指先の感覚が重要となります。体位のわずかなズレや、患者さんの緊張・不安は、触覚を通して初めて気付くことも多いです。MRI検査では、シーケンスごとに異なる装置音が検査室に響きます。その音の変化から検査の進行状況を把握し、時には異常に気付くこともあります。音は単なる環境音ではなく、安全を確認するための大切な情報源なのです。

さらに医療安全の場面では、「何かおかしい」「いつもと違う」といった、言葉にしづらい違和感が重要な役割を果たすことがあります。いわゆる第六感ともいえるこの感覚は、決して偶然ではなく、日々五感を使い続けてきた経験の積み重ねによって

培われたものです。その違和感に気付き、立ち止まれるかどうか、重大なインシデントを防ぐ分かれ道になることも少なくありません。

節分は「季節を分ける日」と書きます。新しい季節へ進む前に、一度立ち止まり、区切りを付けるための行事です。豆をまくときの音や感触は、五感を通して今の自分を意識させてくれます。年度末の忙しさの中で、慣れや思い込みが入り込んでいないかを見直す良い機会でもあります。

新年度を迎える前に、手順書や安全対策を再確認することはもちろん重要です。それに加えて、自分の五感が現場で適切に働いているかを振り返ることも、医療安全意識の向上につながります。節分という小さな節目を、感覚を整え直し、安全な医療を支えるための一歩として大切にしたいと思います。

(文責：園田 優)

## 会費未納者に対する未収会費の債権回収について

INFORMATION

本会では、会費納入義務の適正な運用と本会財務の健全性を維持するため、未収会費の回収に継続して取り組んでおります。2021年度第3回理事会の決定に基づき、2022年度より会費未納により会員資格喪失（除籍）となった元会員を対象に債権の委託回収を開始し、一定の成果を挙げてまいりました。

一方で、退会時に未納会費の確認が十分に行われず、未収会費が残ったまま退会処理が行われていた事例が確認されました。本来、退会手続きにおいても入退会等に関する規程第2条、会費等納入規程第2条、第3条および第3条2項にのっとり会費納入状況を確認し、適切に処理すべきものであり、この点について改善が必要であることが明らかとなりました。

こうした状況を踏まえ、2025年5月15日に開催された2025年度第1回理事会において、会費未納による会員資格喪失（除籍）者に加え、未納会費があるまま退会された元会員についても未収会費の債権回収対象とすることが承認されました。本決定は、会費納入義務の公平性および本会運営の適正性を確保するための措置です。

対象となる元会員の皆さまには、委託業者より順次ご連絡を差し上げますので、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、都道府県（診療）放射線技師会の会費未納分につきましては、各都道府県技師会の判断によって取り扱いが異なります。詳細は、所属されていた都道府県技師会事務局へお問い合わせください。

## 3月・4月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

[e-ラーニング（ストリーミング方式）]

- 告示研修（基礎研修） 2027年3月31日（水）午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日（水）午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- オンラインセミナー（在宅）：本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。